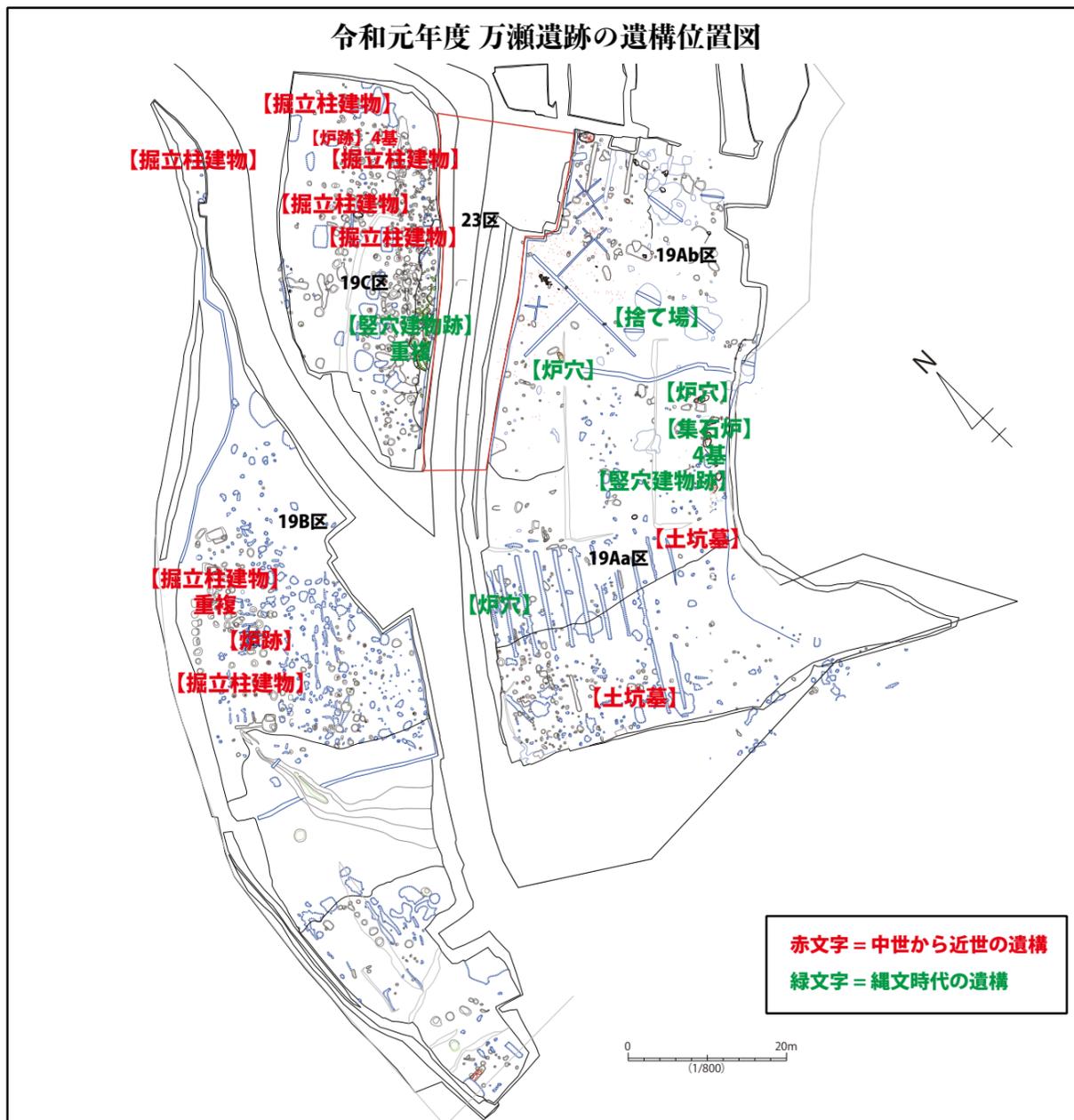
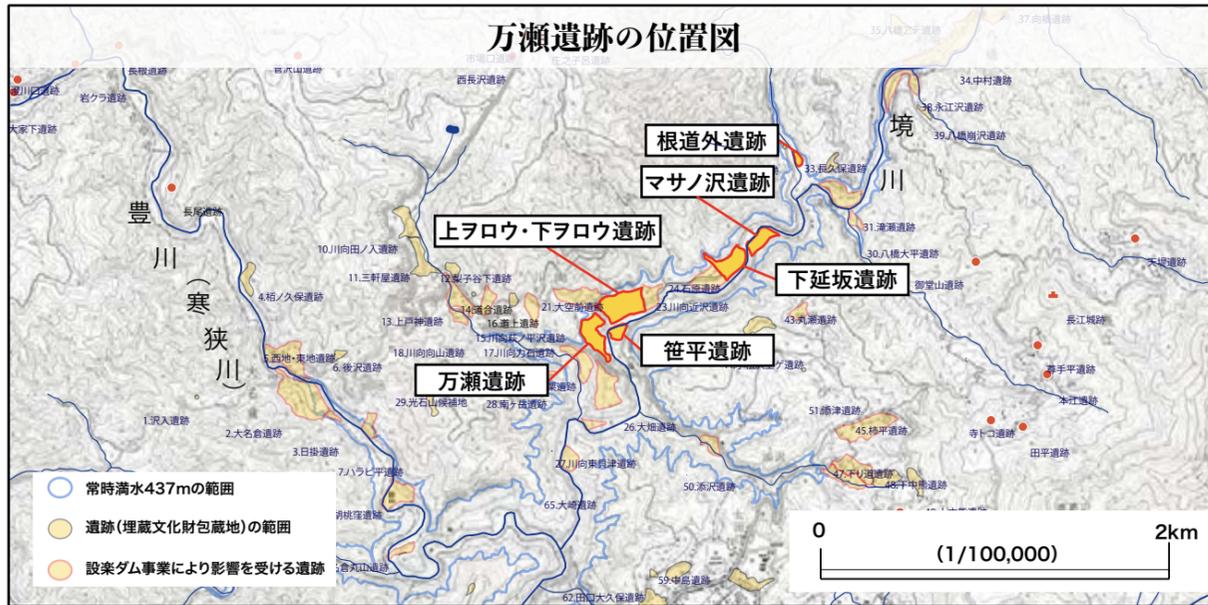


令和5年度 万瀬遺跡地元説明会



2023. 8. 11

編集配布

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017 愛知県 弥富市前ヶ須町野方 802-24

調査支援

NIYU 株式会社 二友組
〒465-0093 愛知県 名古屋市名東区一社四丁目 255

調査概要

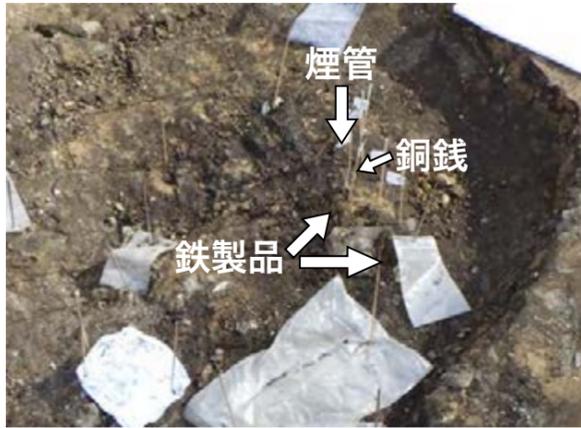
万瀬遺跡は北設楽郡設楽町川向地区の境川右岸に位置する縄文時代から江戸時代の遺跡です。今回の調査は国土交通省中部地方整備局による設楽ダム事業に伴うもので、過去に2回、万瀬遺跡を対象とした発掘調査が行われており、今年度が3回目となります。

現在、中世から近世の遺構を中心に調査を進めております。今年度の調査では土坑墓が2基、炉跡、鍛冶に伴い排出された灰や鉄滓の捨て場と思われる遺構が見つっております。

出土遺物に関しては石臼、播鉢、内耳鍋、天目茶碗等の生活用具、土坑墓からは人骨片、副葬品として銅銭、煙管、小玉などが見つかりました。また、縄文時代の石器の剥片や岩偶なども見つっております。



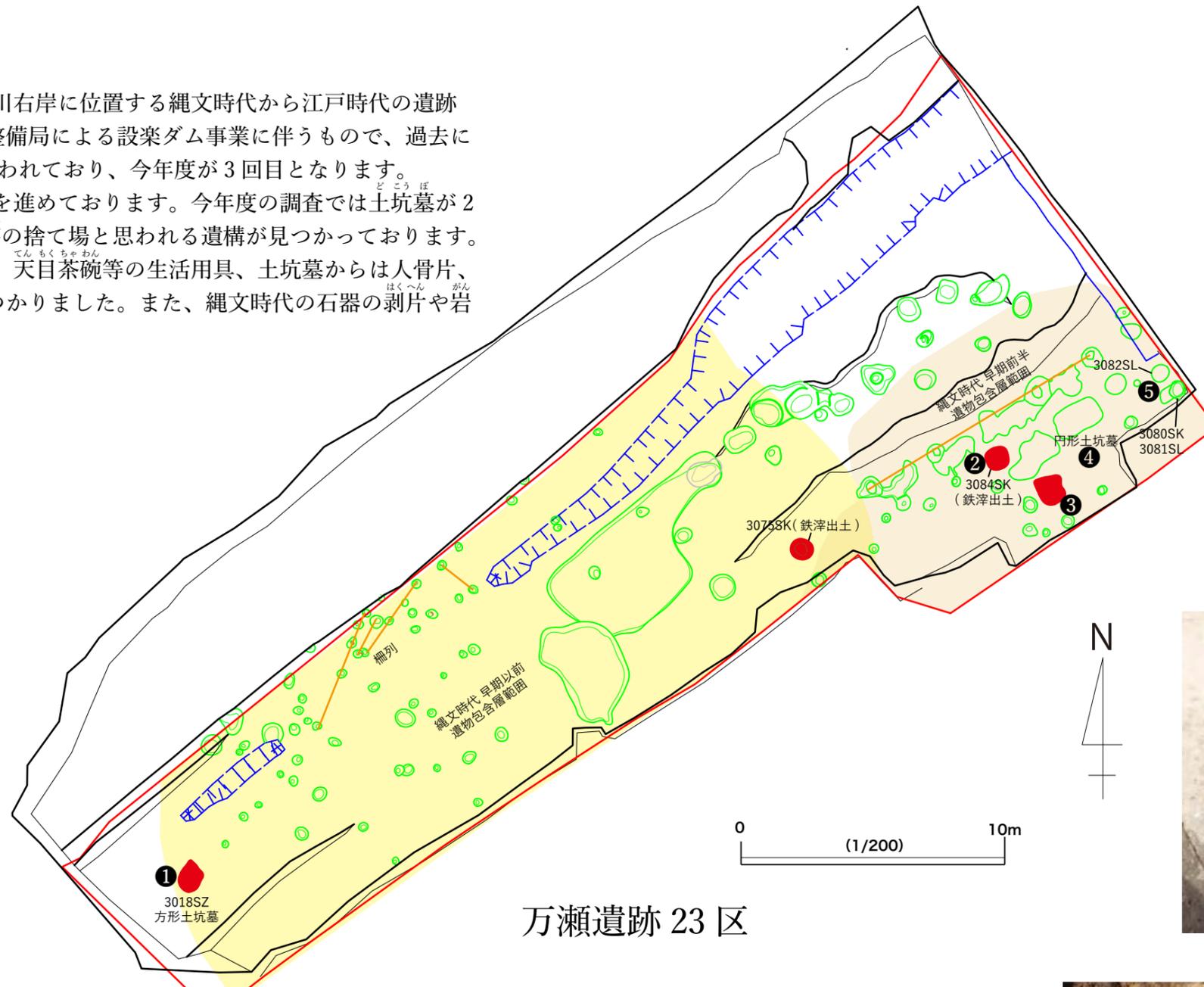
①-1 方形土坑墓の全容 (3018SZ) 東から



①-2 遺物の出土状況 北東から



①-3 遺物の出土状況 (拡大) 北から
3018SZ では人骨片、銅銭、煙管、小玉、鉄製品、繊維製品が確認されています。



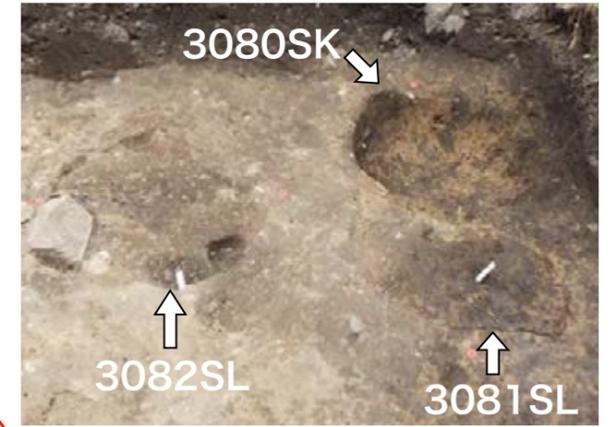
万瀬遺跡 23 区



② 鍛冶による排出物の捨て場 (3084SK) 北東から
埋土には炭化物が多く、鉄滓が出土していますが、焼土が含まれていないことから、鍛冶をした後の排出物を捨てた場所であると思われます。



③ 調査区の東側で出土した岩偶
形状は異なりますが、設楽町内に位置するマサノ沢遺跡と笹平遺跡でも岩偶が出土しています。



⑤ 炉跡 (3080SK,3081SL,3082SL) 南西から
調査区の東端には焼土が多く含む炉跡に関する遺構が確認されました。



④-1 円形土坑墓の全容 南西から



④-2 遺物の出土状況 北から
こちらの円形土坑墓では人骨片、煙管、鉄製品、鬢盥が確認されています。